

令和4年10月14日

保護者各位

鳥栖市立麓小学校
校長 木村 嘉身

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和4年度全国学力・学習状況調査について

令和4年4月19日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、算数、理科）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

(1) 国語について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を大きく上回っていました。
- ・本調査の対象となった「知識・技能」と「思考・判断・表現」の2観点のどちらも全国の平均正答率を大きく上回っていました。
- ・「知識及び技能」に関する内容で「我が国の言語文化に関する事項」が、全国平均正答率を大きく上回っていました。「思考力、判断力、表現力等」における「書くこと」で、全国平均正答率を大きく上回っていました。
- ・「知識及び技能」に関する内容で「我が国の言語文化に関する事項」の中の出題の趣旨「漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く」の正答率が全国平均正答率を大きく上回っていました。「思考力、判断力、表現力等」に関する内容で「書くこと」の中の出題の趣旨「文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える」の正答率が全国平均を大きく上回っていました。
- ・「思考力、判断力、表現力等」に関する内容で「読むこと」についても全国平均正答率を上回っていましたが、出題の趣旨「登場人物の相互関係について、描写を基に捉える」については、全国平均正答率を下回っており課題が見られました。

(2) 算数について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を大きく上回っていました。

- ・本調査の対象となった「知識・技能」と「思考・判断・表現」の2観点のどちらも全国の平均正答率を大きく上回っていました。
- ・「数と計算」領域で、全国の平均正答率を上回っていました。「データの活用」についても全国の平均正答率を上回っていました。
- ・「知識及び技能」に関する内容で、出題の趣旨「目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができる」の正答率が全国平均正答率を大きく上回っていました。「思考力、判断力、表現力等」に関する内容で、出題の趣旨「示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる」の正答率が全国平均正答率を大きく上回っていました。
- ・「思考力、判断力、表現力等」に関する内容で、全国平均正答率を大きく上回っていました。ただ、記述式による「示されたプログラムについて、正三角形をかくことができる正しいプログラムに書き直す」を問う問題では、全国平均正答率を大きく下回っており課題が見られました。

(3)理科について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を大きく上回っていました。
- ・本調査の対象となった「知識・技能」と「思考・判断・表現」の2観点のどちらも全国の平均正答率を大きく上回っていました。
- ・「『粒子』を柱とする」領域で、全国平均正答率を大きく上回っていました。
- ・「『粒子』を柱とする」領域で、出題の趣旨「メスシリンダーという器具を理解している」ことを問う問題の正答率は、全国平均正答率を大きく上回っていました。
- ・「『生命』を柱とする」領域で、出題の趣旨「昆虫の体のつくりを理解している」ことを問う問題の正答率が全国平均正答率を下回っており、課題が見られました。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校児童の姿

- ・「友達と協力するのは楽しいと思いますか」の質問に対して、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えた児童が94.8%います。また、「家で学校からの課題がわからないことがあったとき、どのようにしていますか」の質問に対して、「友達に聞く」と答えた児童が75%という結果より、友達と学び合うことが楽しいと考え、学級での支持的風土の中で学習していることがわかります。「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に対しても、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えた児童が94.8%という結果からもお互いに助け合うことが大切だと考えていることがわかります。
- ・「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問に対して、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えた児童が94.8%という結果が出ています。学習に前向きに取り組む、目的をもって頑張ろうとしていることがわかります。
- ・「朝食を毎日食べていますか」の質問に対して、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えた児童が98.0%という結果が出ています。また、「毎日、同じくくらいの時刻に起きていますか」の質問に対して、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えた児童が81.3%という結果より、基本的な生活習慣が定着していることがわかります。
- ・「読書は好きですか」「自然の中遊ぶことや自然観察することがありますか」の質問に対して、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えた児童が全国平均よりも高い結果が出ています。
- ・学習時間のめやすを「60分以上」としていますが、全国平均より低い結果となりました。

4 今後の改善策（児童の力をさらに伸ばすために）

- ・「麓っ子ががんばり週間」を設定し、自分のがんばりを振り返らせ、がんばろうとする意欲の継続を図るとともに、学習規律や基本的生活習慣の定着を図ります。
- ・「授業づくりステップ1・2・3」を活用し、授業改善を図るとともに、1時間の授業の流れをできる限り統一したり、電子黒板を活用して内容を視覚的に捉えさせたりするなど、授業のユニバーサルデザイン化に取り組みます。
- ・話し合い活動を多く取り入れたり、問題提示を工夫した授業を設定したりするようにします。

- ・家庭でも次のようなことに心がけてください。

1 家庭での学習時間をつくってください。

【学習時間：10分×学年数字（「家庭学習の手引き」より）】

- ◎学習する時間や時間帯を決め、取り組ませることで学習習慣を身に付けさせましょう。
- ◎読書にも進んで取り組ませましょう。
- ◎スマートフォンを使う時間やテレビを見る時間、ゲームをする時間を決め、長時間にならないようにしましょう。
- ◎苦手教科やテスト直し等復習を中心とした自主学習に取り組ませましょう。

2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。

- ◎今後も引き続き、早めに起床させ、必ず「朝食」を食べさせるようにしましょう。
- ◎学校での出来事や読んでいる本の内容について話し合いましょう。
- ◎お子さんががんばったことや良くできたことを、積極的にほめましょう。

5 学習の約束について

- ・今年度、鳥栖西中学校生徒会と麓小学校・旭小学校の運営委員会の児童・生徒が話し合っ
- て決めた共通の『学習の約束』です。

